

# 夏の三大角を撮る

1等星の明るい星々が構成する夏の三大角は、絶好の被写体です。ソフトフィルターを使うとその輝きをより強調することができます。



P.88-89のおおぐま座と同じく、24mm広角レンズを使用して撮影しました。明るい星をにじませる効果のある「ソフトフィルター」を用いることで、夏の三大角が強調されてわかりやすくなっています。背景に流れる天の川をはっきり写すためには、夜空の暗い場所へ撮影に行かなければなりません。日本ではそのような場所が年々減ってきているのは残念なことです。

## DATA

- ▶カメラ Canon EOS 5Ds
- ▶レンズ EF24mm F1.4L II USM
- ▶焦点距離 24mm
- ▶シャッター速度 バルブ3分
- ▶絞り F4 ▶ISO 1600 ▶WB マニュアル

【撮影地・日時】長野県・2016.6・23:18  
※ソフトフィルター、赤道儀使用



## 夏の三大角形

梅雨明けから11月くらいまで、比較的撮りやすい星座です。梅雨入り前でも夜明け頃には昇っており、長い期間撮影が可能です。

## ソフトフィルターを使い 夏の三大角を明るく捉える

夏の三大角は、織姫星として知られること座のベガ。彦星として知られるわし座のアルタイル。そして、はくちょう座のデネブの3つの星で作られる、大きな二等辺三角形です。いずれも明るい1等星ですし、その中を天の川が流れているため見栄えがよく、夏を代表する星空として絶好の撮影対象となります。

夏の三大角は、35mmレンズの画角でなんとか収まりますが、余裕をみるなら24～28mmくらいのレンズを使った方がよいでしょう。また背景に流れる天の川をきれいに写そうと思ったら、肉眼でも天の川がはっきり見えるような場所へ行かなければなりません。そのような場所、例えば平地がうだるような暑さのときでも涼しい高原なら、星空の撮影を大いに楽しむことができます。

## POINT

- ・24～28mmの広角レンズを使う
- ・3つの星はいずれも明るい1等星なので、構図合わせは容易
- ・天の川を肉眼で見られる場所で撮影したい

# 夏の天の川を撮る

ひと際美しく輝く天の川は、誰もが撮影したいと願う被写体でしょう。南北に長いので、超広角で狙うことがポイントです。



フィッシュアイレンズ(魚眼レンズ)は超広角レンズよりもさらに広い範囲を写すことができるため、天の川の流れるの大部分を画面に収めることができます。地平線が歪んで写るのは、星空撮影では意外と気になりません。

## DATA

- ▶カメラ Canon EOS 5Ds
- ▶レンズ EF8-15mm F4L フィッシュアイ USM
- ▶焦点距離 15mm
- ▶シャッター速度 バルブ7分
- ▶絞り F5 ▶ISO 800 ▶WB マニュアル

【撮影地・日時】長野県・2015.7・23:56  
※ソフトフィルター、赤道儀使用

## 気象の好条件を狙い 夏の天の川を捉える

天の川は春以外、つまり夏秋冬の、各季節で見ることができます。しかし、夏の天の川がもっとも濃くて見事な眺めになる理由は、私たちの住む天の川銀河の中心方向すなわち一番濃い部分が、夏の星座の方向にあるためです。

しかし夏の天の川を撮影するのは、梅雨入り前の春の夜半過ぎの方が好適なことも多いです。その理由の1つは天候で、夏の宵の口よりも春の夜半過ぎの方が晴れることが多いからです。そしてもう1つの理由は、日本の夜空は明け方に向かって徐々に暗くなっていくからです。これは、人々の活動が夜が更けるとともに沈静化して灯りが消えていくためですが、淡い天の川を撮影するには、夜空が暗いことが必要不可欠なのです。また、月齢を考慮に入れて、月のない暗いときに撮影するのがおすすめです。ここでは夏の天の川を、フィッシュアイレンズで捉えました。

## POINT

- ・夏の天の川がもっとも美しい
- ・月齢も考慮し、月のない暗い夜に撮影する
- ・広い範囲が写る魚眼レンズや超広角レンズが好適